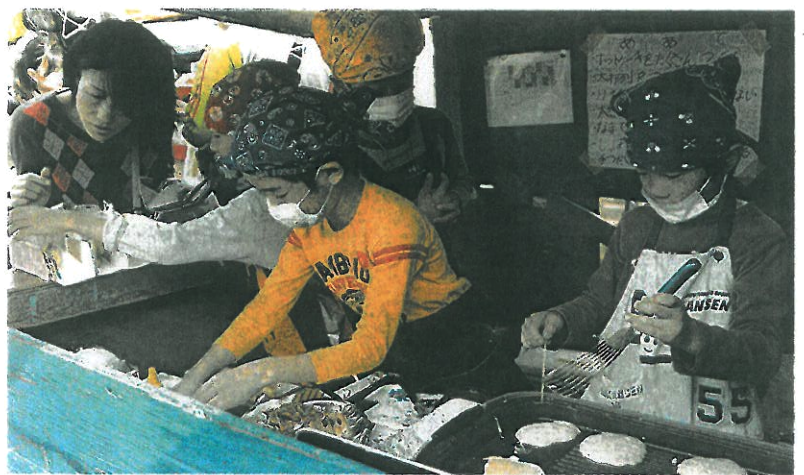


アイデア満載 高津に「横丁」 子どもが店づくりなど学ぶ



自分たちで運営する「こどもゆめ横丁」の店で働く子どもたち＝高津区で

店舗建設から商い、納税まで子どもたちがすべてを手掛ける「こどもゆめ横丁」が三日、川崎市高津区の市子ども夢パークで開かれた。園庭に作られた「横丁」には、子どもたちのアイデアが詰まった三十三店が並び、約二千五百人が訪れる大盛況だった。

自立心をはぐくむ狙いで

毎年、開かれており、今年も九月末に説明会を開催。

過去最多となる約百四十人が参加し、二週間かけて廃材で店作りをしたり、マスコットやおもちゃを手作りするなど準備してきた。

「ルールは、手作りのものしか使ってはいけないことだけ。あとは子どもたちが考え、話し合っ

「いった」と西野博之所長。ドングリをはじめ遊ぶパチンコ店や人気アニメキャラクターの髪形にしてくれる美容院など、自由なアイデア満載の店もあった。開店二時間ほどでカップケーキ三百個を完売した高津区の中学一年生倉田桃華

さん(こ)は、「六種類を用意するのはとても大変で忙しかったけど、楽しかった」と笑顔。各店舗の収益の割は、「横丁税」として納められ、今後、みんなで話し合っ

(平木友見子)